

# 農産経営科トピックス



今年、3.11の大震災により稲作に関する全ての作業が遅れました。しかし、その後の作業に対する集中力やみんなの協力体制がより一層深まり、予定通りの作付けができました。

また、復興支援など自分たちができる限りのことをひとりひとりが主役となって頑張りました。

現在は1、2年生22名で仲良く学んでいます。

春



入学したての1年生は、2年生の指導のもと厳しくも笑いの絶えない実習を送りました。



2年生は、田植え機械による移植栽培、動力散布機や無人ヘリコプターによる直播栽培など自分の卒業研究に合わせたさまざまな栽培方法を実施しました。

## 熱戦再来 校内スポーツ大会 in 岩手農大



今年の1年生は13名と勢力が拡大しました。しかも全員が男子という「男祭」。2年生は1年生とともに優勝を目指して頑張りました。結果は去年の優勝！とはいかず、4位と撃沈でした。それでも経営科の輪は一層深まりました。



今年の2年生までは、産業用無人ヘリコプターの操縦講習があり、全員の受講で全員が優秀な成績で資格取得できました。



卒業研究では、年に数回の中間検討会を実施しました。新たに課題や反省点が見つかり、より具体化していきます。



研究内容により、農大の施設をフルに活用することもあります。より高度な研究をするために頑張ります。



授業はただ栽培方法を勉強するばかりではなく、加工も経験します。味噌やがんづき、甘酒など上手にできました。

## 海外農業研修

～アメリカへの道のり～



カリフォルニア大学へ到着後すぐにアイスクリームパーティーでした（夕食前に）。



カリフォルニアの稲作は、とても広大な面積で・・・見渡す限りの水田でした。



農業機械もすべてBIGでした。値段も家が2つほどの高価なものばかりでした。



見たことのない機械ばかりで、とにかく興奮の連続で、とても楽しい研修でした。

## 陸前高田市広田町での支援

～被災地での水稲栽培から学ぶ～



広田町は、海に面した場所に位置していたため、水田のほとんどが津波により被害を受けました。広田半島営農組合の臼井組合長の津波に負けたくないという強い意気込みにより栽培が実現しました。そこで、私たちが支援をさせていただきました。



田んぼのすぐ目の前が海という場所での田植えはみんなが初めて経験でした。田んぼにカモメのいる光景が印象的でした。震災から3カ月ほどした経過していない時期でしたが、田植えが終わり、被災された方々の満面の笑顔が私たちも勇気をもらうことができました。

